



第29号

令和3年8月1日
高山赤十字病院

病院長よりこんにちは！

拝啓 8月に入り、ひとときわ厳しい日差しが照りつけておりますが、皆様には変わらずご活躍のことと存じます。開業医の先生方はじめ関係機関の皆さまには、患者さんのご紹介など相互連携にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

7月23日に東京オリンピックの開会式が行われ、現在は世界各国の超一流のアスリートたちがメダルを目指して競い合っています。新型コロナウイルスの影響で残念ながら無観客での試合が多いようですが、各選手の活躍ぶりはテレビでも十分に堪能できます。また、夏の高校野球選手権がいよいよ8月9日からはじまります。地区予選を勝ち抜き、日本の頂点を目指す全国高校野球大会で生き生きとプレーする高校球児の姿は、人々の心を打つドラマとなります。今夏どのようなドラマが生まれるのか楽しみに球児たちを応援したいと思います。

梅雨が明けたと同時に連日の猛暑。近年は避暑地のイメージとはかけ離れた気温の高さが続いているようです。健康にはくれぐれもご留意ください。

敬具
病院長 清島 満

【同封文書】

○病院長あいさつ「病院長よりこんにちは！」

【産婦人科】8月からの外来診療体制・・・P2

先生ってこんな人〈シリーズ特別編〉 診療放射線技師 中井 良則・・・P3

○外来担当医表 8月分

○高山赤十字病院診療案内

…患者さんによるご予約の場合に当院への紹介状と共にお渡しいただくと便利です

○地域連携係よりお知らせ

・診療科外来担当医一覧（初診）



◆◆【産婦人科】8月から診療体制が変わります◆◆

この度7月末日をもって産婦人科部長・矢野竜一郎医師が退職いたします。
それに伴い、診療体制が一部変更となりますのでご案内いたします。
退職に伴う産婦人科医の増員はございません。何卒宜しくお願い致します。

【産婦人科】外来スケジュール

		月	火	水	木	金
《初診》	初・再診	加藤		溝口		東松
《再診》	再診	1ヵ月健診	休診 (手術日)	神田	休診 (手術日)	【午前】 神田 【午後】 休診
	妊婦健診	溝口		東松		【午前】 加藤 【午後】 神田
	ゆうがた 妊婦診	-----		東松		神田





◇◇『先生ってこんな人』シリーズ①◇◇

飛騨唯一の「地域がん診療連携拠点病院」として欠かせない放射線治療。今回のインタビューは、夏休みスピンオフ企画として放射線治療医山口先生とともに現場を支える診療放射線技師であり、県下9名の医学物理士のひとりとして活躍する中井良則さんにお話を伺いました。

ご出身はどちらですか？

高山で生まれ育ちました。

診療放射線技師を目指したきっかけは？

もともと機械やコンピューターが好きだったので当初は、工業系の大学に進学するか否かと考えていました。いよいよ進路を決める高校3年生のとき、看護師の母から好きなことを生かせるのではないかと放射線技師という仕事を教わり興味を持ち調べるうちに、国家資格を取得できる放射線技師になろうと決めました。



放射線科・放射線治療（ライナック）室
診療放射線技師・医学物理士

な かい よしのり
中井 良則 技師

実際に診療放射線技師になり、勉学と実務では印象は変わりましたか？

学校では人形（ファントム）やクラスメイト同士で練習していましたが、実際は全く同じ体型の方はいませんので、机上の計算だけでは通用しないことを実感しました。



これまでで印象的な出来事がありますか？

診療放射線技師として当初は、胃透視検査について勉強を重ね「胃がん検診専門技師」資格を取得し、指導員としても経験させていただきましたが、当院が、がん拠点病院として放射線治療医を迎えるにあたり、「がん放射線療法看護認定看護師」と「医学物理士」の配置が課題にあがっていました。その頃、伊勢赤十字病院へ技師の交換研修があり、半年間研修に参加させていただいたことが大きな転機となったように思います。

研修先の伊勢赤十字病院には7名の医学物理士が在席しており非常に勉強になりました。その後、自分も医学物理士の取得へ具体的な目標が出来たように思います。



放射線科・放射線治療（ライナック）室
診療放射線技師・医学物理士

なかい よしのり
中井 良則 技師

飛騨で唯一の「医学物理士」です。

診療放射線技師と医学物理士の違いは

为什么呢？

先進国のアメリカ等では医学物理士がいないと放射線治療が行えず、治療のプランニングを作成するなど業務内容が明確にわかれています。日本では明確ではありません。医学物理士となり、機械の操作やその品質管理、精度管理についてより深く理解が進んだように思います。

現在日本では、物理を専攻した大学卒業生のみを受験資格が与えられていますが、試験内容は物理に関することはもちろん臨床にも近く、診療放射線技師から医学物理士になる方が多いようです。



やりがいは何でしょう？

当院には「強度変調放射線治療（IMRT）」があり主に前立腺がんや頭頸部がんなどの治療に用いられています。精密な治療なのでその誤差が生じた際の影響は大きく、病巣からはずれて治療の効果が失われたり、違う部位に放射線が集中して副作用が生じることもあり得ます。そのようなことを未然に防ぐため患者さんの体内の線量分布を調整したり、医師が立案した治療計画をチェックすることにより重大な医療事故を防いでいます。

これからも医学物理士としての経験を積み重ね、将来は研究に携われたら嬉しいですね。



飛騨地域における当院の役割は 大きいですね。

当院には常勤の放射線治療医が在席しており、へき地でもあるこの地域に高度な医療を提供できる環境があることを地域のみなさんにまずは知っていただきたいですね。スタッフも地域医療を支えているという自覚を持ち業務にあたっています。

放射線治療医は全国的に少なく県内にも数名ですので、その周りのスタッフにもおのずと高度な技術が求められています。期待に応えられるよう研鑽を積んでいきたいと思っています。





開業医の先生方へメッセージ

放射線治療は治すだけを目的としない緩和照射もあり、放射線治療の目的は様々です。緩和照射は癌の完全な消失を目的としていないので放射線量は根治照射と比較し少なく治療期間の短縮、副作用の軽減、同じ部位への再照射が可能など利点があり、癌と上手に付き合っていくためのひとつの方法でもあります。

放射線治療は目覚ましい医療機器の発展と共に治療も日進月歩ですので、患者さんが適応するかどうか判断に迷うときや、ちょっとしたご相談もお気軽に治療医山口尊弘先生や放射線科にご連絡ください。



ひとりひとりの患者さんに寄り添った
チーム医療を目指しています！

放射線科治療医
山口 尊弘 先生

